

令和2年度 病虫害発生予察情報(美濃地域) 7月予報

【果樹】

果樹カメムシ類 * 病虫害発生予察注意報第1号 (R2.5.27付) 発表

岐阜・西濃及び中濃地域に設置した予察灯への誘殺数は、依然として平年より多く推移しています。特に温度及び湿度が高く、風のない日は、活発に活動する傾向があります。今後の気象情報には十分注意し、飛来が認められる場合は直ちに防除を実施してください。

【野菜】

トマト 灰色かび病

降雨や曇天が続くと、葉先枯れや花ガラ、ガク枯れなどの枯死部から本病は発生し、ハウス内に蔓延します。これらの部位をこまめに除去してください。

【水稻】

いもち病 (葉いもち)

BLASTAM (アメダスデータを用いたいもち病感染好適条件の判定システム) によると、6月中旬以降、全域で感染好適日が確認されています (表1参照)。感染好適日に病原菌が感染すると、おおよそ5~10日後に発病します。ほ場での発生状況に十分注意してください。

○主な病虫害の発生時期及び防除時期 (7月)

	病虫害名 (防除適期)	生育状況 発生量	発生時期及び防除適期						防除上の注意事項	
			1 旬	2 旬	3 旬	4 旬	5 旬	6 旬		
水 稲	生育(コシヒカリ)	並	<幼穂形成期>						・6/15 調査 (5/11 田植：農業技術センター)	
	葉いもち	並	<発生最盛期>						・ 葉いもち 箱施薬を実施していないほ場では発生初期に本田防除を実施する。	
	紋枯病	やや少	<初発生>						・ 紋枯病 前年度に多発したほ場では、初発生を確認したら薬剤防除を実施する。	
	縞葉枯病	少	<発生最盛期>						・ 縞葉枯病 感受性品種では特に注意する。	
	ヒメトビウンカ	少	<第2世代幼虫>		<第2世代成虫>				・ 斑点米カメムシ類 カスミカメムシ類が優占する地域では出穂～穂揃期に防除を実施する。また、粒剤は商品により散布時期が異なるため注意する。	
	セジロウンカ	並	<第1世代幼虫>							
	斑点米カメムシ類	やや多	<本田侵入時期>							
	防除適期		斑点米カメムシ類：穂揃期およびその7~10日後に防除を実施する。							
生育(ハツシモ)								・田植 6/10 (農業技術センター)		
か き	ハマキムシ類	多	<第2世代幼虫>						・幼虫発生初期の防除を徹底する。	
	防除適期		▲ハマキムシ類(岐阜西濃・中濃)							
な し	黒星病	並							・幸水では、果実の生育後期の開花 65~85日後 (6月下旬頃~7月上旬) に感受性が高まるため注意する。	
	防除適期		~ ▲黒星病							
も も	ナシヒメシクイ	並	<第2世代幼虫>						・芯折れ枝は見つけ次第剪定し除去する。	
	防除適期								・農薬の収穫前日数に注意する。	
茶	生育(やぶまた：池田)	並								
	岐阜 西濃	ハマキムシ類	多	<第2世代幼虫>						・ ハマキムシ類 発蛾最盛期から7~10日後の防除を徹底する。
		チャノホソガ	やや多	<第2世代成虫>						・ チャノホソガ 発蛾最盛期と萌芽～展葉期が合致すると被害が発生するため、発蛾最盛期から10日後に防除を実施する。
		防除適期		▲ハマキムシ類 ▲チャノホソガ▲						
	生育(やぶまた：白川)	並	二番茶>							
	中 濃	ハマキムシ類	やや多	<第2世代幼虫>						
	チャノホソガ	少	<第2世代幼虫>							
	防除適期		▲ハマキムシ類							

	病害虫名 (防除適期)	生育状況 発生量	発生時期及び防除適期						防除上の注意事項
			1 旬	2 旬	3 旬	4 旬	5 旬	6 旬	
果 樹	カメムシ類	多	< 越冬世代・新世代成虫 >						・夜間の温度や湿度が高い場合は、突発的に ほ場へ飛来するため注意する。
	防除適期								
野 菜 ・ 花 き	灰色かび病	並				<発生最盛期>			・同一系統薬剤の連用は避ける（薬剤耐性お よび抵抗性の発達）。 ・ 灰色かび病 葉先枯れ等の枯死部位は発生 源となるため取り除く。 ・ ハスモンヨトウ 発生初期の防除に努める。 ・ ハコガ 類 若齢幼虫期の防除を徹底する。
	アザミウマ類	やや少							
	ハスモンヨトウ	やや多							
	タバコガ類	並							
	ハダニ類	並							
	防除適期		～ ▲灰色かび病						

注1) ▲、▲～▲：防除適期

注2) 美濃地域は岐阜、西濃、中濃および東濃地域

注3) 用語の定義及び基準については「発生予察事業の調査実施基準」に準ずる

いもち病（葉いもち）

BLASTAM（アメダスデータを用いたいもち病感染好適条件の判定システム）
によるいもち病の発生条件



表1 2020年6月BLASTAMによるいもち病の発病条件 病害虫防除所

日付	岐阜	大垣	愛西 海津	関ヶ 原	揖斐 川	樽見 根尾	美濃	八幡	長滝 白鳥	美濃 加茂	黒川 白川	多治 見	中津 川	恵那
6/5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/11	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	●	●	-	●
6/12	-	-	-	-	-	●	-	-	-	●	●	-	●	●
6/13	●	●	●	●	●	●	●	-	-	●	●	●	●	-
6/14	●	-	●	-	-	●	●	●	-	-	●	●	-	-
6/15	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/19	-	-	-	-	-	-	●	◎	-	◎	◎	◎	◎	◎
6/20	-	-	-	-	-	-	●	●	-	●	◎	●	◎	●
6/21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/25	-	-	●	-	-	●	-	-	-	-	●	-	-	-

凡例

- △：準好適条件（湿潤時間10時間以上だが、前5日間の平均気温は20℃未満）
- ▲：準好適条件（湿潤時間10時間以上だが、前5日間の平均気温は25℃以上）
- ：準好適条件（湿潤時間10時間以上だが、湿潤時間の平均気温は15～25℃の範囲外）
- ◎：準好適条件（湿潤時間が湿潤時間中の平均気温ごとの必要な時間より短い）
- ：好適条件（湿潤時間中の平均気温が15℃～25℃であり、湿潤時間が湿潤時間中の平均気温ごとに必要な時間を満たし、当日を含めてその日以前5日間の日平均気温の日平均気温の平均値が20～25℃の範囲にある）
- ：好適条件、準好適条件は満たされなかった。
- 空欄：欠測値があるため判定不可能

※感染好適条件が現れると感染し、潜伏期間（おおよそ5～10日）を経て発病します。
 ※感染好適条件が連続して現れると、発病の可能性が高まりますので、注意してください。
 ※BLASTAMデータについては右のQRコードに掲載していますので、ご活用ください。



6～8月は「農薬危害防止運動」期間です。

農薬の適正な使用・保管管理に努め、農薬を散布する場合は、周辺に栽培されている作物のみでなく、住宅地等を含めて飛散がないよう、十分に配慮してください。

東海地方1か月予報（名古屋地方気象台 6月25日発表）

向こう1カ月の気温は平年より高く、降水量は平年並、日照時間は平年並と予想されます。
 気候は、平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。